

原子力政策円卓会議（第2回）の結果について

平成10年10月27日

1. 日 時 1998年10月26日(月) 午後1時30分～午後5時00分

2. 場 所 サンシャインシティ' リンズホール（東京都豊島区東池袋3-1-5）

3. テー マ 「今、なぜ原子力問題か？」

4. 出 席 者

○モデレーター

石川 迫夫	原子力発電技術機構特別顧問
小沢 遼子	社会評論家
茅 騰一	慶應義塾大学教授
木村 孟	学位授与機構長
中島 篤之助	元中央大学教授

○招へい者

浅岡 義恵	弁護士（気候ネットワーク代表）
今井 隆吉	杏林大学 教授
鈴木 達治郎	（財）電力中央研究所 上席研究員
西 尾 漢	原子力資料情報室 共同代表
藤井 石根	明治大学理工学部 教授
藤目 和哉	（財）日本エネルギー経済研究所 常務理事

（敬称略 五十音順）

5. 概要

今回は、「今、なぜ原子力問題か？」というテーマで、特にエネルギーの中の原子力のあり方について議論が行われた。招へい者によるプレゼンテーションの後、以下のような論点で議論が行われた。

○エネルギー消費の拡大、経済成長と、ライフスタイルの見直しの選択

○若者のエネルギー問題についての意識の低下

○省エネルギー技術の可能性

○太陽光、風力、バイオマス等の再生可能エネルギーの実現性とその推進のあり方

○既設の原子力発電所の廃止の難しさと増設の是非

○エネルギー分野におけるCO₂削減の方法

○原子力の安全性の問題

○放射性廃棄物等の次世代への負担問題

○将来的な東アジアにおける原子力導入に伴う問題

また、次回は11月24日に福井県敦賀市において、「今後の原子力立地をどう考えるか」というテーマで開催される予定